



記念事業巡り

会長 楠 英夫 幹事 楢戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023～2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2024年3月26日 32号
2024年3月19日 第3例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|-----------------|-----------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 7. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 8. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| 3. 幹事報告 | 楢戸憲一幹事 | | (司会進行：山口裕由 S A A) |
| 4. 委員会報告 | | | |
| 5. ニコニコBOXの発表 | 吉田正一副 S A A | | |
| 6. 卓 話 | 海田恭敬ロータリー情報副委員長 | | |

本日のプログラム

楠康夫阿見アスリートクラブ理事長より活動報告を伺います。

次週のプログラム

4月2日(火)の例会は、矢口奈々会員の新会員卓話でございませう。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	52	5	62.65	3・4	5・11・12 16・18	12	77.11

【委員会報告】

ロータリー情報委員会

海老原 一郎 委員長

本日例会終了後、記念事業の足跡巡りに出発します。参加される方々はフロント前にお集まり下さい。

【卓 話】

海 田 恭 敬 ロータリー情報副委員長



皆さん、こんにちは。

本日の卓話はロータリー情報委員会の提供であります。

今、正面の映像でご覧になっているのは「温故知新」今から12年前に江ヶ崎實さんが情報委員長の時にお話されたもので、今回その画像をそっくり頂き、古きを訪ねて新しきを知る為に土浦南 RC の59年の記念事業の足跡を巡ってみたいと思っています。

まず最初の写真ですが、昨年丁度私の90歳の誕生日11月28日に卓話させて頂き、その夜木村英明さんのよし町で「卒寿祝」をして頂いた時のものです。皆さん笑顔で写っていますので、その笑顔が毎晩、私の良い眠り薬になっています。この卒寿祝は稲野邊穰さんが発起人となり、楠英夫会長をはじめ多くの会員の皆さんに出席して頂き、大変嬉しく思っております。これは私にとっては一瞬の喜びだけではなく、一生の喜びとなり改めてクラブ全会員の皆さんにお礼を申し上げたく、敢えてこの写真を紹介させて頂きました。本当にありがとうございました。

さて今日は「土浦南ロータリークラブの歴史と文化」ということも話してみたいと思っています。人に歴史あり、クラブに文化ありと言われておりますが、来年創立60周年と言う大きな節目を迎えますので、先ずはこの機会に全会員で会員増強に積極的に取り組んで頂きたいと思っております。

先輩の言葉に「人間はいつまでもあると思うな、親と金、そしてないと思うな災害と災難」というのがあります。皆さんも何回も聞いていると思いますが、親と金についてはもうロータリー会員の皆さん方には関係ない事だと思えます。しかし、「ないと思うな災害と災難」これはいつどこで何が起きるはわかりません。

2016年私の誕生日の丁度10年前1923年の9月1日に関東大震災が起き、東京都に14万人強の死傷者が出ました。虫掛に住んでいた先輩の話によりますと、当時東京には高層ビルやタ

ワーマンションも無かったので、ものすごい黒煙が見えたと言われました。

その後、1995年1月17日に阪神淡路大震災が起きました。この日は私にとっても特別な日として還暦の前後でしたか、ロータリーの会長も終わりホッとしたところに、茨城県の石油業界の理事長に推薦され、1月17日の理事会で返事をする日と重なった訳です。

2011年3月11日に今度は東日本大震災が起きました。大勢の死傷者を出した大変な震災でした。この日もたまたま土浦青年会議所シニア倶楽部の代表世話人として最初の全国の総会に出席する為に東京プリンスホテルに電車に向かっていましたが、柏駅から電車は動かず、電話も使えず、駅前タクシーも拾えない、仕方なく6号国道まで歩き何とかタクシーに乗車出来たものの土浦まで3時間以上かけて帰宅した事を思い出します。

それから5年後2016年の4月14日と16日に今度は九州の熊本大震災が起きました。昔、加藤清正が築城した立派な熊本城がガタガタに崩れてしまいました。

そして今年の正月、お屠蘇気分になっている1月1日に能登半島大震災が起きました。自然災害というのは、いつどこで起きるかわかりません。こうして話をしている間にも地震が起こる可能性もある訳です。昔から災害は忘れた頃にやって来る等と言われていましたが、現在では忘れる暇がないうちに次から次へと災害が発生しています。

東に西に太平洋岸側に日本海岸側に、今や日本列島どこに災害が起きてもおかしくない状態になっています。昔から怖いものの例えに「地震、雷、火事、親父」と言われていましたが、今では親父の権威も落ちて、火事、津波となっているようです。

また、地震の脅威の他にも日本は、ミサイル、あるいはサイバー攻撃とか、いろいろな国から狙われています。しかし、下手に日本に手を出すと直ちに反撃されるという抑止力さえ持っておれば大丈夫です。

さて話は戻りますが、私が入会した当時、初代会長の中川延四郎さんの栃木県の工場に職場訪問として参加しました。いろいろな説明の中で、土管だと思っていたヒューム管はオーストラリアのWCヒュームさんという方が作ったパイプとして「ヒューム管」という名前がつき、そのヒューム管の特許を中川さんが買い取り日本で普及していると伺いました。今や中川ヒューム管は業界で日本一のトップ企業であります。

先般、職業奉仕委員長の福田昭一さんのお骨折で職場訪問として中山元章さんの中山工業(株)や、完賀浩光さんの(株)坂田園芸等も見学させて頂き、お二人の経営者としてのスバラシイ一面も知ることが出来ました。私達も大変いい勉強になりました。

今後、会員の事業所を訪ねる機会も多いかと思いますが、その時にはなるべく大勢の会員の皆さんで参加し視察して頂きたいと思っています。お互いに職場を訪問し合い、より良く知り合い絆を深めるのも一つの文化だと思います。

私が入会した時は、会員は明治、大正、昭和の3世代の人達の集まりでした。明治時代の人

というと私達の父親の世代ですから中に物は言い難い、そこは大正世代の兄貴分の人達が明治の先輩から教わった事を教えて頂き、優しく接して下さい、しっかり指導して下さいました。その流れが南クラブには文化として生きています。

また冒頭の話になりますが「いつまでもあると思うな、親と金、親孝行したい時には親はなくさりとてお墓に布団が掛けられず」という言葉があります。人間には両親ほど大切に尊いものはありません。昔から父の思い出は山より高く、母の思い出は海よりも深いと言われていきます。特に母親は赤ちゃんが生まれると肌身離さずスキンシップで育てます。少しハイハイが出来るようになると這えば立て、立てば歩めの親心、そしてお誕生日が来て少し歩くようになると手が離せない、また保育園や幼稚園に行くようになると危なくて目が離せない、そして小学校に入学するようになると手や目も離れ、心と心の繋がりが大切になります。この様に子供の成長過程で親子の心の繋がりがしっかり出来ておれば子供は悪には染まりません。長い人生の中で困った事が起きたら、こんな時親ならどのようにするだろうかと考える筈です。これは成人後の友人関係も同じです。彼にはこんな事を言われたくない、また彼が言うならば仕方がない。いざと言う時耳の痛いこと、辛口で注意してくれた友人こそ本当の心友であります。子供が生まれて両親の愛情に育まれ成長していく過程の話をしましたが、動物には親が子孫繁栄の為にたくさんの子供を産みますが、犬や猫も猿も子供が親の面倒を見る事はなく親孝行はありません。親孝行が出来るのは人間だけです。人間が万物の霊長と言われる所以であります。親孝行の出来ない人間は犬や猫と同じであります。

私は土浦南ロータリークラブの先輩の皆さん達が築いてくれたスバラシイ文化をしっかりと守り、後輩の皆さん方に引き継いでいきたいと思っております。再び会う事の出来ない先輩の在りし日のお顔を、そしてスバラシイ面影を思いながらこの遺徳を大切にしていきたいと願っております。

まだまだお話ししたい事はたくさんありますが、時間が来たようなのでこれで終わりにします。ご清聴ありがとうございました。

土浦南RCの温故知新

写真で見る59年間の記録一覧

2024年3月19日

ロータリー情報委員会



土浦南RCの歴史と文化について



1967年 小城銀治郎年度 創立2周年事業－湖畔の桜（旧京成ホテル周辺）



1975年 大塚重雄年度 創立10周年事業－亀城公園内東四阿（あずまや）



1985年 福見利雄年度 創立20周年事業－ブロンズ像（土浦駅西口憩いの場）



1987年 酒井亨年度 地区大会記念事業－石像「憩」モール505入り口滝の前



1990年 黒田隆一年度 創立25周年事業－つくしの家（上高津）国旗掲揚塔



1993年 海田恭敬年度 ロータリーの森（神立公園内）



1995年 塚本隆年度 創立30周年事業－土浦市へ「介護用電動ベッド」7台寄贈



2000年 片岡信彦年度 創立35周年事業－
土浦市へ「車椅子」15台寄贈



2003年 中川清年度 ロータリー100周年社会奉仕プロ
ジェクト－りんりんロード100本の桜の苗木植栽



2004年 稲本修一年度 土浦市へ「待合木製ベン
チ」寄贈（土浦一高バス停留場）



2005年 稲本修一年度 創立40周年事業－土浦市立
の幼稚園・小中学校へ「さすまた」58本寄贈



2005年 来栖功年度 土浦市へ「待合木製ベンチ」
寄贈（土浦市国民宿舎水郷 バス停留場）



2006年 染谷誠年度 土浦市へ「待合木製ベンチ」
寄贈（新治総合福祉センター前 バス停留場）



2008年 本橋道明年度 土浦市へ「屋外用ベンチ」
寄贈（亀城公園内に石のベンチ一基）



亀城公園内に「石のベンチ」寄贈
2009年 金井守年度 一基、2010年 鈴木明夫年度
創立45周年事業として二基、2010年 白井秀治年
度 一基、2011年 山口義郎年度 二基、2012年 酒
井洋次年度 二基



2014年1月 大島三郎年度 地区補助金を活用し、川口二丁目暫定公園 [ラクスマリーナ・土浦京成ホテル跡地] に「石製ベンチ」二基寄贈



2014年10月 今泉孝之年度 地区補助金を活用し、川口二丁目暫定公園 [ラクスマリーナ・土浦京成ホテル跡地] に「石製ベンチ」二基寄贈



2015年 創立50周年記念事業-土浦市新庁舎へ「サイネージ」[電子看板] 寄贈



2016年 鈴木健一年度 市民運動広場に「芝生に優しいベンチ」を整備



2017年 溝口隆一年度 土浦市川口運動公園野球場「きょうの試合」寄贈



2018年 稲野邊穰年度 霞ヶ浦文化体育館「デジタル時計」寄贈



2020年 清野宏之年度 土浦市民会館大ホールへ「55型ワイドサイネージスタンドセット」寄贈



2020年 清野宏之年度 創立55周年記念事業-土浦市民会館小ホールへ「55型ワイドサイネージスタンドセット」寄贈



2021年 海老原一郎年度 土浦市役所窓口付近に「空間除菌脱臭機ジアイーノ」寄贈



2022年1月28日 福田昭一年度 りんりんポート土浦へ「テーブル・ベンチ」寄贈



2023年2月 伊東和幸年度「りんりんロード桜プロジェクト」



2023年11月30日 楠英夫年度 新治運動公園内へ「アルミベンチ」寄贈